

(1) 馬入川橋梁工事映畫フィルムの一部

## 土木建築工事の映畫に就て (本誌記者)

過渡期に於ける近代人が、住みにくいこの頃の世を住みよいものにせうとする一つの藝術欲求の思想が生じて來た、そのあらはれとして、レコードにラヂオに演劇に映畫に、多少そこに本質的ではないものがあるが、その傾向は著しくなつた。

その中でも殊に歡迎されてゐるのは映畫である、この映畫による人生への波紋は實に澎湃たるものがある、思慮分別の完き人士は知らず、目下成育時代にある少年少女の間に精神上に將又、形體の上如何に影響甚しきかは誰しも肯き得るここである、善を稱するここにしろ、惡を判ずるここにしろ映畫のもたらす波紋は斯くの如きものである。

工事狀況の映畫に就ても近頃種々なる方面で注目され又研究され従つて必要を感じられるに至つたが、工事狀況映畫の技術に就ては未だ充分研究されてゐない、之は餘りに専門的なものとして顧られなかつたのであるが、我社活動寫眞部が今回提携する事になつた横濱シネマ商會は此點に於て一頭地を抜いてをるものである。

横濱シネマ商會は數年前から工事狀況の映畫技術に就て多大の苦心を拂つてをる、従つて其製作映畫フィルムは歐米品を凌駕するものがある。同商會が何故斯かる優良なる物を作るかは其製作態度を一見すれば最も良く分るのである。

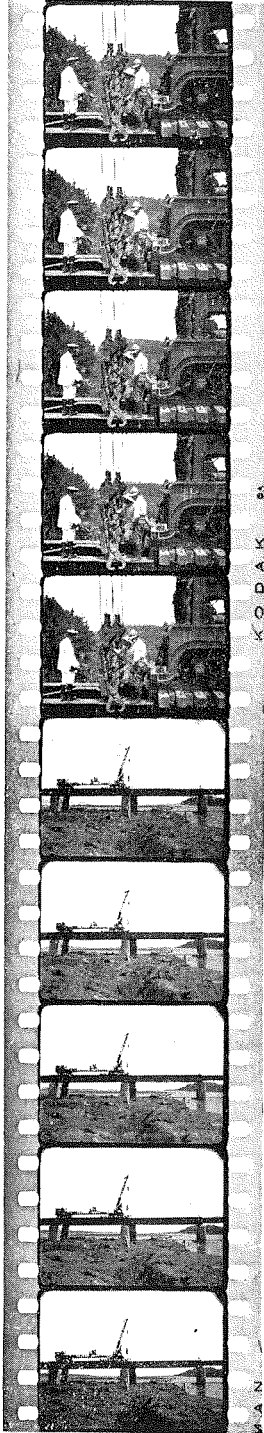
記者親しく社長、佐伯永助氏を訪ふて其製作場を視た、神奈川の郊外、靜かな丘上に瀟洒たる洋館を見れば既に身はロスアンゼルス附近に在るの思がする。

此の洋館の地下室は全部作業室になつてをる。現像室、定着室、水洗室、色染室、乾燥室、焼付室を別々に分れて、各室に優秀なる機械が秩序整然と設備されてをる。社長は殆んど作業服で此等の暗室作業を指揮し又自ら現像もしてをる。記者は此等の完全なる設備と、熱心なる態度を見て、周圍の靜かなる環境と俱に必ず良き物が出来るのが當然であると思つた。

現に横濱シネマの手によりて東京建設事務所の清水隧道工事を撮影中である。

又民間としては錢高組、大倉土木株式會社等が盛にこの映畫を利用しつゝある。錢高組の新橋架橋工事などは有益なものであるが、尙之等民間の需要せらるゝに付いては前述の効用の外、營業政策としてもかなり効果を収めてゐる事實がある。それは他ではないが大なるプロパガンダの機關となるからである。

【次に鐵道省が今までに映寫せられた諸工事を紹介せやう。

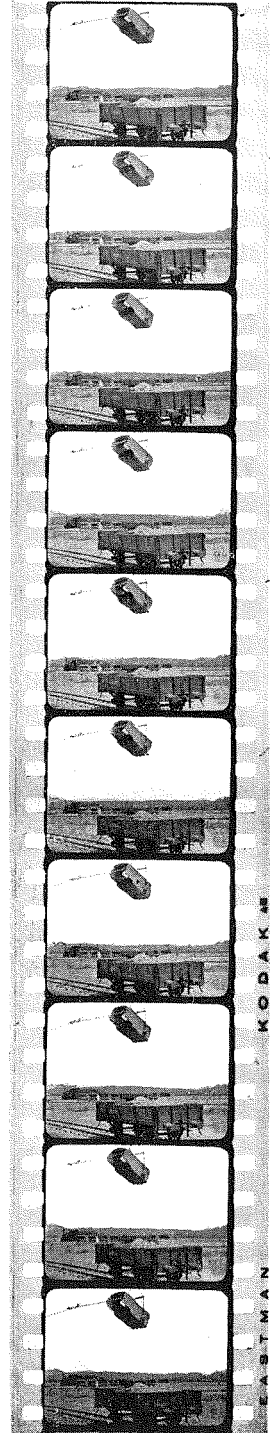


(2) 馬入川架橋工事映畫フィルムの一部

高架線工事	一萬尺	第一改良事務所
線路附設競技實況	二千尺	仙臺鐵道局
青函連絡棧橋工事(ケーソン製作)	三千尺	札幌鐵道局
神居古澤附近軌條交換	千尺	同
		上
タカハシ川桁架工事	三千尺	神戸鐵道局
廣島尾の道間復線工事	二千尺	同
		上
關門海峽連絡設備	二千尺	門司鐵道局
手延式架橋工事	一千尺	同
		上
若松石炭積込實況	二千尺	同
		上
障害物試驗實況	一千尺	同
		上
小貝川橋梁架設工事	二千尺	東京鐵道局
馬入川桁架工事	三千尺	國府津改良事務所
熱海線白糸川工事	二千尺	同
		上
港川橋梁工事	二千尺	千葉改良事務所
ドラッグライン作業實況	一千尺	同
		上

尙又、内務省の映寫工事を書いてみれば、  
 荒川改修工事 三千尺  
 京濱國道工事 八千尺等である。  
 線畫(例へば横斷面、圖縱斷面圖等)なごはトリックに依つて自由に撮影なし得る。此の線畫の應用は又活動寫眞特有の長所である。水中作業の狀態さか、隧道工事に於て鑿岩機利用のスチールの掘進狀態なごは到底此の線畫による外は表現出來ない事である。

此等の映畫による工事狀況は今後工業學校等の教授參考資料としては又無二の實物教授となるものである。



(3) 多摩川に於ける砂利採收の映畫フィルムの一部